

令和元年度決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

教育委員会

目 次

I	令和元年度教育委員会主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	5
III	歳入歳出決算額	1 6
1	一般会計決算額	1 6
	(1) 歳入決算額	1 6
	(2) 歳出決算額	1 7
1	特別会計決算額	1 8
	(1) 歳入決算額	1 8
	(2) 歳出決算額	1 8

I 令和元年度教育委員会主要施策の成果の概要

〈徳島教育大綱（平成27年度～令和元年度）の基本目標〉

『とくしまの未来を切り拓く，夢あふれる「人財」の育成』

1 地方創生から日本創成へ！「徳島ならではの」教育の推進

（施設整備課，教育創生課，学校教育課，特別支援教育課，体育学校安全課，総合教育センター）

（1）個性，可能性を最大限に伸ばす教育の推進

変化の激しい時代を生きる子供たちが，それぞれの個性や能力に応じてこれからの社会を生きぬいていく力を身に付け，可能性をしっかりと開花させる教育を推進するため，「多様で特色ある能力・個性を伸ばす教育の推進」「次代を生きぬくキャリア教育の推進」「障がいによる困難を克服し，個性輝く自立を支援」を三本柱とした事業を展開した。

特に，「阿南光高校」において高大接続による教育及び産業界との連携による研究開発を行うとともに，商品開発から販路拡大までを一体的に行う徳島ならではの「6次産業化実践教育」のさらなる進化・発展を図った。

また，学校の枠を超えたネットワークの構築や年間を通じたプログラムによる意欲・学力向上やサイエンティストの発掘・育成を図るとともに，家庭や地域・経済団体等と積極的に連携した「キャリア教育」の取組を推進した。

さらに，発達障がいのある子供たちへの切れ目ない支援を図るため，本県独自の「ポジティブな行動支援」の拡充，社会的・職業的自立に向けたキャリア教育を実施した。

（2）人口減少社会に挑戦する「徳島モデル」の学校づくり

人口減少が急速に進む地域の高校において，その魅力化や活性化を通じて地域の新たな活力を創出するため，豊かな資源を活かした教育プログラムを展開し，県内外から生徒が集う学校づくりを進めた。

また，小規模化する学校を存続させ，かつ教育の質を保障する徳島モデルの小中一貫教育として「チェーンスクール」「パッケージスクール」の全県展開を図るとともに，二地域居住を促進するため，地方と都市の学校間移動を容易にする「デュアルスクール」の実証研究によるモデル化を進めた。

さらに，義務教育の学び直しを希望する者や外国籍の者などに対して教育の機会を確保するため，全国初となる「県立夜間中学」設置に向けた準備を行った。

(3) 徳島からの「教育イノベーション（技術革新）」

第4次産業革命時代の未来社会で活躍できる人材を育成するため、小学校段階でのプログラミング教育の実施に向けて調査研究を行うとともに、教職員の指導力向上を図った。

また、小規模化が進む高校において、多様な教育活動を展開するため、生徒の学習ニーズに応じた遠隔授業の実施体制を構築した。

さらに、教育ビッグデータの分析・活用方法について検証するとともに、生徒の理解を深める授業を実践するため、学校におけるICT環境の充実を進めた。

(4) 災害を迎え撃つ防災教育の推進

児童生徒が安全・安心に学ぶことができる教育環境を確保するため、「県立学校施設長寿命化計画」に基づき、県立学校施設を長く賢く使えるよう計画的に整備した。

また、発災時には避難所となる学校体育館への空調設備の導入を推進するため、県立学校をモデル校として選定し、既存施設や周辺環境等の調査を行いコストなど比較検討の上、最適な空調方式を決定する「快適避難所空調設置モデル」の確立を目指した。

さらに、南海トラフ巨大地震等の自然災害等に備え、地域防災の担い手となる人材を計画的に育成するため、小学校高学年を対象とした「あわっ子防災チャレンジ」の実施や、中高校生及び教員の「防災士」資格取得の支援を一層推進するとともに、中学校、高校の「防災クラブ」が自主的な活動を行う体制づくりを進め、地域に根ざした積極的な防災活動を展開した。

2 一人ひとりが輝く！徳島の未来を育む教育の推進

（教育政策課，教職員課，福利厚生課，学校教育課，人権教育課，体育学校安全課，生涯学習課）

(1) 確かな学力，豊かな心，健やかな体の育成

子供たちが、心身ともに健康で、幅広い知識や教養，豊かな情操，道徳心などをバランスよく習得し、総合的な人間力を高めるため、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成する教育を推進した。

特に、新学習指導要領において示された「主体的・対話的で深い学び」の実現を通して学力向上を図るため、大学との連携強化，各校の研究テーマに基づいた取組の実施，県・国の学力調査と学力向上確認プリントの活用により「学力の向上」に着実に取り組むとともに、スクールカウンセラー等の専門家による教育相談体制の充実，子供たちの「体力の向上」さらには健康課題である「肥満予防」，「肥満対策」，「生活習慣の改善」に向けた取組を進めた。

また、すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、学校の教育活動全体を通じて人権教育を推進するとともに、子供たちの命を守り抜くため、命や心に関する主体的な学びの充実を図った。さらに、中・高生の様々な悩みに対応するため、SNSを活用した双方向での相談窓口を開設し、有効な教育相談体制の構築に向けた実証研究を行った。

幼児教育においては、幼稚園と保育所、認定こども園、小学校との連携・接続を強化し、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進した。

(2) 未来を拓く教職員の育成

教員の働き方改革推進のため、学校の業務改善に大きな効果がある「統合型校務支援システム」を含む「学校業務支援システム」の全市町村公立小中学校への導入に向け、構築を進めるとともに、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制の整備や部活動の活性化を図り、教員の負担軽減につなげるため、外部人材の活用を推進した。

また、教員育成指標を踏まえた、キャリアステージに応じた研修等の実施、心身の健康保持・増進を図った。

(3) 学校・家庭・地域が協働で取り組む教育の推進

地域の女性ネットワークを活用し、エシカル消費を分かりやすく説明する教材の作成及びワークショップの開催等により、地域に根ざしたエシカル消費の普及・啓発を図った。

また、特別支援学校等卒業後の障がい者の自立と社会参加を促進するため、各種講座を開催し、生涯を通じた多様な学習活動を支援した。

さらに、地域総ぐるみで未来を担う子供たちの成長を支えるため、地域住民等の参画により、学校・家庭・地域が連携・協働して、学校教育活動を支援する体制を整備し、放課後や週末等における豊かな教育環境づくりを進めた。

(4) 時代の潮流を見据えた学びの推進

成人として自分らしく自立し、責任を担い協働できる若者を育成するため、生徒の積極的な社会参加の推進を図った。

また、消費者庁等と連携・協働し、専門的知識を有する指導者の育成を目指した研修モデルの構築、「エシカル消費」推進に取り組む高校生による「エシカルフェス」の開催など、新次元の消費者教育の推進を図った。

さらに、全国モデルとなる実践的な取組の深化を図るため、全国初となる「エシカル甲子園2019」を本県で開催した。

3 グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進

(学校教育課, グローバル・文化教育課, 体育学校安全課, 総合教育センター)

(1) 徳島を愛する心の育成と「とくしま回帰」の促進

「ふるさと徳島」への誇りや郷土を愛する心を醸成するため、伝統文化や文化財の継承に資する教育を進めるとともに、「あわ文化」の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」の育成や活躍の場の拡大を図った。

(2) 世界に羽ばたくグローバル人財の育成

新学習指導要領への移行を踏まえて、「聞く・読む・話す・書く」のバランスのとれた英語力を身につけた生徒を育成するため、中学校において生徒の英語力の検証・分析を行い、指導改善に繋げた。

また、英語でのコミュニケーション能力の育成はもとより、総合的な人間力を高め、世界に羽ばたく教育を推進するため、小学校から高校までの児童生徒に英語で外国人と交流する体験活動の機会を提供するとともに、県内全ての児童生徒の英語力を世界スタンダードへと育てるため、小・中・高校の教員の指導力・英語力向上を図った。

さらに、海外留学や海外大学進学を目指す中学生、高校生の支援などにより、グローバルな視点と地域（ローカル）の視点を兼ね備えた世界を舞台に活躍できるグローバルな人財の育成に努めた。

(3) 国際舞台で躍動するアスリートの育成

2022年度全国高等学校総合体育大会や各種全国大会での上位入賞を目指すため、強化校を指定し、集中的に高校生の競技力向上を図った。

また、小・中学生世代から将来性のある選手の発掘や運動部活動の活性化、新たな可能性を秘めた有望競技の育成を進め、競技力の底上げを図った。

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 地方創生から 日本創成へ！「徳 島ならでは」の 教育の推進	高大・地域連携キャンパス実 践展開事業	地方創生の原動力となる人材を育成するため、高大連携や地域・民間連携の拠点となる阿南光高校新野キャンパスにおいて、徳島大学との高大接続教育や産業界と連携した研究開発に取り組んだ。 (1, 293)
	6次産業化実践教育ステップ アップ事業	6次産業化教育に対応し、地域の活性化を担う即戦力となる人材を育成するため、農業・工業・商業科設置校等が連携し、6次産業化商品の開発を通して、「6次産業化をプロデュースする人材」を育成する実践的取組を進化・発展させた。 (3, 217)
	新未来創造・高校生育成プロ ジェクト	高等学校での「探究」活動を中心とした「深い学び」の実現によって、将来、持続可能な社会の作り手として各分野を牽引していく人材を育成するため、ネクスト・リーダー育成プログラムでは、高校生サミットなど、学校の枠を超えて切磋琢磨する機会を設けるとともに、サイエンス・スペシャリスト育成プログラムでは、ハイレベルサイエンス講習会など、将来世界レベルの研究に取り組む科学者の育成を目指して事業を推進した。 (7, 079)
	未来へつなぐ「キャリア教育」 推進プロジェクト	児童生徒のしっかりとした勤労観や職業観を確立し、社会で活躍できる人材の育成を図るため、家庭や地域、経済団体等と連携し、起業体験活動、中学生への専門高校PRイベントや徳島で活躍する企業を見学するバスツアーの開催等、多様なキャリアパス実現のための事業を行った。 (8, 182)
	スーパーオンリーワンハイス クール事業	高校生自らが地域の課題解決に向けた活動を通じて、魅力ある学校づくりや地域を活性化させることを目的とし、実施校の取組を支援するとともに、生徒活動発表会の開催や発表要旨集を発刊して、その成果を広報した。 (9, 988)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 地方創生から 日本創成へ！「徳 島ならでは」の 教育の推進	発達障がい「つながる・ひろ がる・はばたく」充実事業	発達障がいのある児童生徒等への切れ目ない支援のため、本県独自の「ポジティブな行動支援」の拡充を図るとともに、社会的・職業的自立に向け、一貫したキャリア教育の充実を図った。 (8,102)
	特別支援学校「エシカルチャ レンジ」事業	特別支援学校の児童生徒の社会参加と能力開発を推進するため、「学校のエコステーション化」や企業と連携した新商品開発など、エシカル消費の活動にチャレンジした。 (1,432)
	特別支援学校「みんなが主役」 きらめき事業	特別支援学校の児童生徒一人一人が「主役」となり、将来にわたって地域で活躍できる力を身につけるため、文化的な体験学習や職業スキルを活かしたフェスティバル、四国霊場札所でのお接待活動等を実施した。 (10,003)
	ふるさと創生拠点ハイスクー ル推進事業	人口減少が急速に進む地域の高校において、その魅力化や活性化を通じて地域の新たな活力を創出するため、豊かな資源を活かした教育プログラムを展開し、県内外から生徒が集う学校づくりを進めた。 (6,311)
	人口減少社会に対応した小中 一貫教育推進事業	過疎・少子化の進行により小規模化が進む中、学校を存続させ、かつ教育の質を保障する「チェーンスクール」及び「パッケージスクール」という2つの学校教育のかたち（徳島モデル）を県下全域に周知し、普及・推進を図った。 (4,627)
	二地域居住を加速する「デュ アルスクール」実証事業	地方と都市の交流人口の増加による地方創生と少子化への対応、子どもの豊かな体験機会の提供による感性の育成を図るため、二地域居住にも対応した「新しい学校のかたち」のモデル化に向け、事例を積み重ねた。 (5,125)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 地方創生から 日本創成へ！「徳 島ならでは」の 教育の推進	夜間中学設置推進事業	「徳島県立しらすぎ中学校」を令和3年4月に開校するため、シンポジウムの開催やチラシ・ポスターの作成・配布、入学希望調査の実施など全県的な広報・周知活動を展開した。また、「中学校夜間学級協議会」を開催し、各市町村や関係機関との連携を図り、広報・周知活動や入学者への支援の在り方等について協議した。 (1,834)
	第4次産業革命に活躍するためのプログラミング教育事業	第4次産業革命時代の未来社会に活躍できる人材を育成するため、小学校段階でのプログラミング教育の実施に向けて調査研究を行うとともに、実践的なプログラミング教育の実施に向けて教職員の指導力向上を図った。 (1,800)
	高等学校の多様なニーズに応える遠隔教育推進事業	過疎・少子化の進行により小規模化が進む高校を多様な教育活動や魅力的な授業の展開により活性化するため、生徒の学習ニーズに対応した徳島ならではの遠隔授業の実施体制を構築し、そのノウハウを県内外へ発信した。 (2,803)
	教育関係ビッグデータ活用実証事業	児童生徒の学力や学習意欲、さらには教員の指導力等の総合的な教育力を向上させ、新しい未来を創造できる人材の育成に役立てるため、教育ビッグデータの分析・活用方法についての検証に取り組んだ。 (1,131)
	進化する教室イノベーション事業	I C Tを活用した「わかる授業」の効果を普及するため、モデル校の普通教室に移動式常設電子黒板を設置し、全ての授業で既存タブレットと連携させた、生徒の理解を深める授業実践を推進した。 (24,289)
	県立学校施設長寿命化推進事業	長寿命化計画に基づき、老朽化している建物を改修し、児童生徒が、安全・安心に学ぶことのできる教育環境の整備を行った。 (212,377)
	高校施設耐震診断・改修事業	阿南工業高校と新野高校の再編統合において、生徒の安全・安心を確保するため、耐震改修と内部改修の一体整備を行った。 (193,418)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 地方創生から 日本創成へ！「徳 島ならではの」の 教育の推進	県立学校避難所施設強化・充 実事業	県立学校を中核的な避難所と位置づけ、避難所としての機能強化を図るた め、必要な整備を行った。 (37,436)
	県立学校体育館「快適避難所 空調設置モデル」事業	避難所となる体育館の夏場の高温対策のため、空調設備の整備に向けて設 計を行った。 (2,948)
	チャレンジ防災人材育成推進 事業	小学校高学年を対象にした防災学習プログラム「あわっ子防災チャレンジ」 を推進し、発達段階に応じた実践的な防災教育の充実を図った。地域防災の 担い手となる人材を計画的に育成するため、「学校防災人材育成講座」を開催 し、「中高校生防災士」を養成するとともに、学校防災の要であり防災教育に 係る指導的立場を担う「教員防災士」を養成した。 (5,982)
	ふるさと大好き！地域防災推 進事業	全ての高等学校に「防災クラブ」を設置し、中学校にも設置を広げ、地域 と連携した防災ボランティア活動等に取り組むなど、将来の防災の担い手の 育成を図った。 (3,000)
	実践的防災・安全教育総合推 進事業	学校における安全教育の充実と推進を図るため、国費事業（学校安全総合 支援事業、学校安全教室推進事業）を活用し、災害安全、交通安全、生活安 全に関する実践研究・研修に取り組んだ。 (3,188)
2 一人ひとりが 輝く！徳島の未 来を育む教育の 推進	徳島「未来の学び」創造プロ ジェクト	新しい学習指導要領において示された学力の向上のためのP D C Aサイク ルを確立し、全国学力・学習状況調査や本県独自の学力・学習状況調査等で明 らかになった課題の克服を行うため、授業改善等の研究実践の推進校を設定 し、大学等の専門的知見・技術を生かした教員の指導力向上及び学校の教育 力向上のため継続的な指導・助言・支援を行うとともに、その成果を計画的 に県下の学校に普及した。 (4,900)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 一人ひとりが輝く！徳島の未来を育む教育の推進	阿波っ子“いきいき”未来応援プロジェクト	不登校、いじめや暴力行為などの児童生徒の問題行動等の未然防止や早期発見のためにスクールカウンセラーを各学校等に配置した。また、スクールソーシャルワーカーを市町村教育委員会に配置するとともに、学校問題解決支援チーム派遣として、より高度で専門的な知識を有するスクールプロフェッサー（医師，臨床心理士，社会福祉士等）を学校等に派遣し，教育相談体制の充実を図った。 <p style="text-align: right;">(110, 252)</p>
	人権教育研究推進事業	文部科学省「人権教育研究推進事業」の委託を受け，学校，家庭，地域社会が一体となった教育上の総合的な研究（人権教育総合推進地域事業）並びに学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究（人権教育研究指定校事業）を実施し，県内の人権教育の一層の推進を図った。 <p style="text-align: right;">(1, 726)</p>
	人権教育研究指定校事業	文部科学省指定の小学校・中学校に加え，県指定として幼稚園等と高等学校（特別支援学校を含む。）において，人権尊重の精神の涵養を図るための学校教育の在り方についての実践的な研究を実施した。 <p style="text-align: right;">(360)</p>
	中・高生による人権交流事業	県内の中学校・高等学校及び特別支援学校の生徒が交流し，人権について語り合うことを通して，人権尊重の理念についての理解を深めるとともに，人権意識の高揚を図り，様々な人権問題を解決する実践力を身に付けた生徒を育てることを目的として，「中・高生による人権交流集会」を実施した。 <p style="text-align: right;">(1, 170)</p>
	体力アップ！サンライズ事業	運動習慣の確立や望ましい生活習慣を形成し，体力向上に向けた県民への啓発活動を行う事で，子供の体力・運動能力の向上を図るため，ICTを活用したランキングシステムによる「NEW キッズ&ジュニアわんぱくランキング」を実施した。 <p style="text-align: right;">(3, 073)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 一人ひとりが輝く！徳島の未来を育む教育の推進	徳島プロスポーツ感動体験推進事業	<p>児童生徒の運動に対する興味や関心を高めるために、プロスポーツ選手を手本とした体力向上テキストを作成するとともに、へき地学校の児童生徒をプロスポーツの試合に招待した。</p> <p>さらに、中学校・高校の部活動に専門的な指導者を派遣し、競技力のレベルアップを図った。</p> <p style="text-align: right;">(1, 687)</p>
	元気なあわっ子！応援事業	<p>徳島の未来を担うすべての子供たちの健康づくりを目指して、平成27年12月に制定した「元気なあわっ子憲章」の普及啓発を図った。</p> <p>本県の子供たちの特徴的な健康課題である「肥満予防」「生活習慣の改善」を図るため、すべての公立学校で「生活習慣改善プロジェクト」を作成し、各学校の実情にあった取組を推進した。</p> <p>また、学校、地域の講習会、研修会等に専門家を派遣し、学校、家庭、地域が連携して児童生徒の健康課題を解決するための体制づくりと取組を支援するとともに、専門家と連携しての研修会等も実施した。</p> <p>小学生親子を対象に元気なあわっ子道場を開催し、小児期からの家庭での健康づくりを支援した。</p> <p style="text-align: right;">(1, 103)</p>
	阿波っ子すこやか「いのちと心はぐくみ」プロジェクト	<p>いじめや不登校、自殺、児童虐待等、児童生徒の生徒指導上の諸課題の未然防止や早期発見・早期対応のために、児童生徒の問題解決に向けた実践力の育成を目指した「いじめ防止子ども委員会」の設置や「全国いじめ問題子供サミット」への参加、人権尊重の精神の涵養に資する「いのちに関する作品募集」、さらなる教育相談体制の充実を図る「スクールロイヤーの活用」等を行った。</p> <p style="text-align: right;">(2, 651)</p>
	いのちを守る子どもサポート事業	<p>将来にわたり自他の生命を守ることができる児童生徒を育成するため、専門的知見を有する外部人材を活用した「いのちを守る講師派遣事業」や大学と連携した「徳島版予防教育」を実施した。また、困難やストレスに直面した児童生徒が、一人で抱え込むことがないように、教職員に対し命の門番としての適切な対応力やS O Sの出し方に関する教育等の指導力の向上を図るために「ゲートキーパー養成研修」を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(2, 539)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 一人ひとりが 輝く！徳島の未 来を育む教育の 推進	道徳教育総合支援事業	学習指導要領を踏まえて道徳教育の抜本的改善・充実を図るため、地域に根ざした創意工夫ある道徳教育の取組に対して支援を行うとともに、道徳教育に係る指導内容・方法等の周知を図った。 (4,658)
	SNS活用「生徒の心の相談」 実証事業	子どもたちの様々な悩みに対応するため、子どもの心が最も不安定になる夏季休業日明けの時期を中心に、LINEを活用した双方向の相談窓口を開設して、有効な教育相談体制の構築に向けた実証研究を行った。 (7,754)
	幼児教育推進体制構築事業	「全ての幼児に提供される質の高い幼児教育」を目指し「徳島県幼児教育振興アクションプランⅡ」をより実効性のあるものとして推進するために幼児教育推進体制を構築し訪問指導の充実、保幼小連携・接続の普及、大学との連携を推進した。 (3,618)
	学校業務支援システム構築・ 運営事業	学校業務支援システムの令和2年度中の完成を目指し、システムの構築を開始した。また、システムの細部を決定するため、各市町村を代表する教職員等で構成したワーキンググループを設置し、協議を行った。 (85,800)
	スクール・サポート・スタッ フ配置事業	教員の事務作業等の負担軽減を図るため、スクール・サポート・スタッフを配置し、教員がより児童生徒への指導や教材研究に注力できる体制を整備した。 (9,012)
	部活動指導員配置促進事業	学校の働き方改革の一環として、部活動における教員の負担軽減と質的な向上を図るため、中学校に部活動指導員を配置した。 (7,116)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 一人ひとりが 輝く！徳島の未 来を育む教育の 推進	新しい時代を切り拓く教員育 成事業	平成29年4月1日の教育公務員特例法の一部改正法の施行を受け策定した、 教員等が高度専門的職業としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべ き資質・能力を示した「とくしま教員育成指標」を改訂（令和2年2月）する とともに、指標を踏まえて研修体系を再構築した、「とくしま教職員研修計画」 を作成し、計画に基づき研修を実施した。 (6,962)
	教職員研修事業	教職生活全体を通して、効果的・継続的に学び続け、自己を高める教職員 を支える多様な研修講座を総合教育センターを中心に実施し、教育力の向上 を図った。また、初任者研修における校内研修の指導員等を各校に派遣し、 効率的・効果的な研修を推進した。 (17,662)
	教職員職場復帰支援事業	職場復帰した教員のメンタル不調再発防止のため、復帰後のフォローアッ プとして、定期的に復帰者の在籍校へ臨床心理士を派遣し、本人及び管理職 等に対して専門的な知見に基づく助言・指導を実施した。 (116)
	地域力×女性力「エシカル消 費」推進事業	地域で広いネットワークを持ち、消費生活において重要な役割を担ってい る女性の力を活用し、学校とも連携しながら、地域社会へのエシカル消費の 普及啓発を実施した。 (1,246)
	障がい者の生涯学習支援事業	県立総合大学校「まなびーあ徳島」に「障がい者の学びコース」を開設し、 県立障がい者交流プラザにおいてスポーツや文化・芸術、生涯学習等に関す る講座を実施した。 (1,052)
	放課後子供教室推進事業	放課後や週末等の子供たちの安全な居場所を確保し、学習、スポーツ、芸 術、交流などの活動を行う放課後子供教室の実施に対して、支援等を行った。 (32,650)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 一人ひとりが 輝く！徳島の未 来を育む教育の 推進	地域ぐるみの学校支援事業	幅広い地域住民等の参画による学校の支援体制である地域学校協働本部の活動を推進した。また、中学生に対する学習支援として、地域未来塾を実施した。 (7,602)
	18歳！新成人への学びプログラム事業	主権者教育に関する高等学校及び特別支援学校高等部担当教員の指導力向上のための研修や、児童生徒に対しての政治参加への意識を高めるために、大学教員や選挙管理委員会、県教育委員会指導主事等による出前講座等の実施により、よりよい社会の構築にむけて主権者教育の一層の推進を図った。 次代を担う高校生等の、持続可能な社会の実現に向けた取組成果を発表する「エシカル甲子園2019」では、予選審査を経て本選審査に進んだ12校が、エシカル消費の大切さを全国に向けて発信した。 (9,750)
	新次元の消費者教育推進事業	自立した消費者の育成のために、多様な主体と連携・協働し、幼稚園・小学校・中学校・高等学校における発達段階に応じた消費者教育や、持続可能な社会の実現に向けた「エシカル消費」教育を推進した。 (8,369)
3 グローバル社 会で活躍！徳島 から世界への扉 をひらく教育の 推進	輝け高校生！文化芸術創造・発信事業	本県の文化力を全国に発信するため、平成27年に文化芸術リーディングハイスクールに指定した名西高校を文化芸術教育の拠点校として育成するとともに、城北高校人形会館を活用し、阿波人形浄瑠璃の伝承に取り組んだ。 (23,539)
	羽ばたけあわっ子！文化芸術共創・発信事業	徳島の伝統文化を担い誇りを持って県内外に発信し続ける人財を育み、中学生の文化芸術発信力を高めるため、県内全公立中学校1・2年生を対象とし「あわ文化検定」を実施するとともに「あわっ子文化大使」の育成を推進した。 (2,609)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3 グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進	世界スタンダード英語4技能育成事業	英語4技能育成を目的に、中学校2年生を対象として、CAN-DOリストに沿った授業実践を行い、客観的な指標による4技能型のテスト（GTEC Core）を実施した。結果から、生徒の英語力把握と指導のPDCAサイクル促進がすすみ、成果を県内全中学校に共有した。 (6,667)
	Tokushima 英語村プロジェクト エンジョイ！コミュニケーション事業	小・中・高等学校を通じて英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や能力の育成を図るとともに、広く世界に目を向け、国際協調の精神を育むため、小・中・高校生を対象に英語をベースに外国人と交流する取組を実施した。 (9,361)
	とくしま英語教育イノベーション研修事業	県内全ての児童生徒の英語力を世界スタンダードへと育てるため、小学校・中学校・高等学校教員の指導力・英語力向上を図る研修等を実施した。 (350)
	徳島グローバルスタンダード人材育成事業	友好協定を締結しているドイツ・ニーダーザクセン州や、アジア諸地域との間の学校間交流において、ツールとしての英語を用い、各学校の特色を生かしたより進化した学習を行った。 (2,618)
	帰国・外国人児童生徒“いきいき”事業	要望があった学校へ日本語講師を派遣し、日本語指導が必要な児童生徒への効果的な日本語教育を行った。また、日本語講師や教職員に指導のノウハウを教える研修を行った。 (4,989)
	外国人英語指導助手配置事業	招致した外国人英語指導助手を総合教育センター学校経営支援課に1名、県立高校に20名を配置し、配置校や訪問校における英語教育の充実を図った。 (101,916)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3 グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進	海外における商業教育システムレガシー活用・深化事業	徳島商業高校とカンボジア日本友好学園の生徒交流をさらに深めるとともに、カンボジア特産品と日本の加工技術を融合させ、エシカル商品・フェアトレード商品の共同開発を充実させた。 (1,785)
	NEO 徳島トップスポーツ校強化事業	本県高校スポーツの競技力向上と普及・振興を図り、全国大会で入賞できる部活動を育成するため、強化指定校・育成指定校の2つのカテゴリーに分けて指定し、それぞれの特徴に応じた活動を支援した。 (15,914)
	全国高等学校総合体育大会開催準備事業	令和4年度に四国ブロックで開催される全国高校総体を3年後に控え、徳島県準備委員会を設立するとともに、大会開催の準備を進めた。 (2,204)
	渦潮スポーツアカデミー推進事業	未来のトップアスリートを徳島から発掘・育成・強化するため、鳴門渦潮高校をスポーツの拠点校として、県内アスリートの体力を科学的に測定・分析し、専門家のサポートを行ったほか、専攻実技8競技への強化費支援、部活動指導者へのスキルアップ研修等を実施した。 (7,697)
	あわスポーツ・ブルーミング戦略事業	長期的な展望に基づき、競技団体と連携し、選手の育成・強化を図るため、県高体連へのトップスポーツ校以外への強化費助成、県中体連への四国・全国総体への強化費助成、県小体連への体操発表会、水泳検定、陸上競技記録会への助成を実施した。 (6,448)
	中学校トップスポーツ競技育成事業	本県中学校スポーツの競技力の向上と普及・振興を図り、全国大会で活躍できる競技者を育成するため、中学校体育連盟加盟競技専門部の中からトップスポーツ競技を指定し、中学校体育連盟及び専門競技部に支援した。 (4,394)

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
教 育 政 策 課	722,648,000	224,539,324	224,539,324	0	0	△ 498,108,676
コンプライアンス推進室	0	0	0	0	0	0
施 設 整 備 課	514,634,000	514,148,158	514,148,158	0	0	△ 485,842
教 育 創 生 課	28,577,000	25,175,237	25,175,237	0	0	△ 3,401,763
教 職 員 課	11,306,471,000	11,320,816,079	11,320,816,079	0	0	14,345,079
福 利 厚 生 課	23,916,000	24,066,128	24,066,128	0	0	150,128
学 校 教 育 課	67,182,000	56,711,011	56,711,011	0	0	△ 10,470,989
グローバル・文化教育課	3,889,837,000	3,882,888,089	3,882,868,289	0	19,800	△ 6,968,711
特 別 支 援 教 育 課	84,062,000	74,899,805	74,899,805	0	0	△ 9,162,195
人 権 教 育 課	63,774,000	365,774,662	70,635,548	1,887,270	293,251,844	6,861,548
体 育 学 校 安 全 課	125,444,000	93,467,755	93,467,755	0	0	△ 31,976,245
生 涯 学 習 課	24,533,000	22,416,552	22,416,552	0	0	△ 2,116,448
計	16,851,078,000	16,604,902,800	16,309,743,886	1,887,270	293,271,644	△ 541,334,114

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 の 比 較
教 育 政 策 課	2,792,468,000	1,546,333,190	822,115,000	424,019,810	1,246,134,810
コンプライアンス推進室	963,000	857,176	0	105,824	105,824
施 設 整 備 課	2,454,369,000	1,350,549,018	943,158,000	160,661,982	1,103,819,982
教 育 創 生 課	46,627,000	31,741,670	6,700,000	8,185,330	14,885,330
教 職 員 課	62,213,581,000	61,877,211,590	0	336,369,410	336,369,410
福 利 厚 生 課	8,180,507,000	8,045,170,472	0	135,336,528	135,336,528
学 校 教 育 課	392,292,000	364,144,191	0	28,147,809	28,147,809
グローバル・文化教育課	2,078,496,000	2,059,383,553	0	19,112,447	19,112,447
特 別 支 援 教 育 課	175,724,000	154,321,126	0	21,402,874	21,402,874
人 権 教 育 課	201,282,000	185,631,366	0	15,650,634	15,650,634
体 育 学 校 安 全 課	214,030,000	175,166,075	0	38,863,925	38,863,925
生 涯 学 習 課	145,243,000	140,488,321	0	4,754,679	4,754,679
計	78,895,582,000	75,930,997,748	1,771,973,000	1,192,611,252	2,964,584,252

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
グローバル・ 文化 教育 課	奨 学 金 貸 付 金 特 別 会 計	225,679,000	693,221,912	568,132,256	0	125,089,656	342,453,256
計		225,679,000	693,221,912	568,132,256	0	125,089,656	342,453,256

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
施 設 整 備 課	県 有 林 県 行 造 林 事 業 特 別 会 計	250,000	249,436	0	564	564
グローバル・ 文化 教育 課	奨 学 金 貸 付 金 特 別 会 計	225,679,000	223,038,620	0	2,640,380	2,640,380
計		225,929,000	223,288,056	0	2,640,944	2,640,944